令和7年度　上野原市市民活動支援事業一覧

番号	年数	事業名称	申請団体	団体概要	過去の活動実績	事業概要
1	1	エンジョイサークル	エンジョイシニアサークル	独居老人の生き方・在り方を仲間と過ごすことで楽しみを知り元気に生活出来るようにする。	なし	人生100年時代を生きるシニアの生き方・在り方を一人で過ごすのではなく、仲間とともに楽しく学ぶ活動の場所づくり（メイクアップ、リズムダンス、習字、料理など講師を迎えて体験する）
2	1	教育・文化支援	秋山地域文化教育支援行動協議会	秋山地域における文化・教育の支援活動を行う。	小中学校の課外活動の支援「秋山の民話」を伝える活動他	歴史・文化を伝える看板作成 歴史、・文化を伝える資料作成 紙芝居の公演
3	1	食と農とワインと	上野原カフェ実行委員会	都会と地方の交流事業 ・地元の人々と観光客に上野原市の農産物の魅力を伝える ・地域の農産物を有名シェフの手によって美味しく提供する。	上野原カフェ（マルシェ併設）開催 ・食と農とワインとをテーマに、7回開催 ・市内外から計約400人のお客様をお迎えしている。	上野原市観光協会とタイアップし、上野原カフェ・マルシェを開催する。 ・上野原カフェでは都内で活躍するシェフをお迎えし、上野原市の地元食材を使用したフランス料理などを提供する。 ・マルシェでは地元農産物などを販売、また、講師を招いて上野原市でしか体験出来ないワークショップを開催する。
4	1	子育て支援・学習支援	元気っこくらぶ	子育て支援と学習支援（サポート）をし、地域に根差した活動を目的とする。	子育て支援としては、一昨年より毎月コモア内の集会所で食育などを通し子供同士のつながりを深めていた。対象年齢が小学生なので、学習支援も長期休みのみ実施していた。	・毎月1回、食育などを通して他学年との交流をはかる。また、親子分離（低学年）をし、子の自立心を促す。 ・学習会や漢検・数検を実施。
5	1	島田の夏まつり	島田の夏まつり実行委員会	多くの住民が集う夏まつりを開催し、地域住民と移住者との交流の場を提供するとともに、島田地区の活性化をはかり、住民間の問題解決につなげていく。	なし	島田地区の活性化のために島田地区区長会、島田地区民生委員・児童委員協議会、島田公民館役職員等が協同で夏まつりを開催する。
6	1	若者未来可能性プロジェクト	休耕地活用プロジェクト	現在、和見は子どもが2人しかいない限界集落である。若者の移住者や関係人口を増やしていきたいという住民たちの思いから、高齢化が進み休耕地となっている小麦畑を住民の手で復活させ、小麦を活用し、里山再生を図るために本会を結成した。都市部の人や若者にとって、和見の小麦、ゆず、山菜、森林、竹は宝物。獣害となるシカやイノシシ・クマを獲り、食べることにも憧れを抱く若者も増えている。このような若者や都市部の人たちに向けて、和見の文化や自然の魅力を発信し、和見に足を運んでいただくことで、和見の関係人口を増やしたい。また、住民とのコミュニケーションや繋がりをつくる手段として、和見の共有財産である自然や、休耕地を活用し、地域活性化への貢献に寄与することを目的とする。	2024年4月：都市部の参加者と和見で獲れた小麦で手作りうどんづくり、山菜摘み、自然観察、周辺のお祭りを観覧	和見は限界集落となり、今では子どもが2人しかいない危機的状況。和見の伝統的な文化や豊かな自然、その魅力について、都市部の若者へ発信し、和見に足を運んでもらうようなきっかけを作っていきたい。訪れた若者と和見の住民が共に「同じ釜の飯を食べ、汗を流し、共に過ごす時間と場づくり」を行っていく。若者一人一人がやりたい活動に我々メンバーが様々な形で応援し、若者との関係づくりを築いていくことで、将来的に一人でも多くの和見への移住者が増えることを期待したい。また、若者が和見の住民の知恵や知識・技術を学び、そして人間の利他の愛を感じる経験を通じ、現代の混沌とした社会においても明るい未来像を描きながら、自信をもって生き抜く大人への成長に繋がると考える。
7	1	意思決定支援推進事業	しるく	市民向け意思決定支援推進活動	2025年4月6日　大目さくら祭り参加 大目さくらの会に協賛いただき、、リーフレット配布、 チェックシートを用いてACP相談会を開催した	医療現場や介護現場ではACP・人生会議が普及されてきている中で、地域においては、高齢者、若い世代とも認知度が低く、啓発活動が必要とされています。 「しるく」は、ACPリーフレット・チェックシートを作成し、地域で行われるイベントへの参加をし出前講座・もし話カードゲームなどを行い、市民向けにACP普及活動を行います。
8	1	旧高橋英吉邸宅アトリエの改修	りんどうの里美術会	上野原市にゆかりのある美術工芸作家の作品を一堂に集めて展示し、市民に広く紹介するとともに、上野原市の文化財を市民に紹介することを目的とする。	2013年山梨国民文化祭を機にして上野原市美術工芸展を開催したのが本美術展の始まりである。それ以来、本年までに19回の展示を行って来た。例年、6月と10月の年2回の開催である。最近では市民の間にりんどう里美術展は定着し開催を待たれるようになっている。	故高橋英吉の遺したアトリエを改修してギャラリーとすることにより絵画の展示を拡大する。

令和7年度　上野原市市民活動支援事業一覧

番号	年数	事業名称	申請団体	団体概要	過去の活動実績	事業概要
9	1	ろう者との交流と手話の普及活動	手話サークル「手輪っち」	・手話技術の向上 ・ろう者との交流 ・手話の普及	・市立小学校4校にて子ども手話教室一年計7回上小（7/2、1/7）西小（9/19、2/6）秋山小（6/4、11/12）島田小（8/8） ・上野原高等学校インターンシップより学生見学 ・9月23日手話言語の国際デー　やまなし手話言語の日イベント ・社会福祉協議会主催「社会福祉大会」参加 ・毎月2回（第1.3木曜日）学習会（内1回をろう講師依頼）	・子ども手話教室・ろう者参加（教育委員会依頼） ・手話言語の国際デー、やまなし手話言語の日交流会 ・社会福祉協議会主催「社会福祉大会」ろう者と参加 ・手話技術レベルアップの為の学習会
10	1	上野原の伝統食酒まんじゅうの継承と保存	上野原酒まんじゅうラボ	上野原に古くから伝わる発酵菓子「酒まんじゅう」の伝統技術と食文化を守り、次世代へとつなぐことを目的とする。また、地域のほこりとしての酒まんじゅうの魅力を広く発信し、食を通じた郷土愛と地域のつながりを育む活動を行う。	・令和6年度「100年フード（伝統の100年フード部門）」認定に向けた申請書類の作成・提出 上野原の酒まんじゅう文化を広く発信し、次の世代に伝えるため、文化庁の「100年フード」認定に向けた調査・文書作成・写真整理等を実施。 ・2024年八王子いちょう祭りに出店（地域外へのPR活動） 地域外イベントである「いちょう祭り」にて酒まんじゅうを販売。上野原の郷土食としての魅力を多くの来場者に伝えた。 ・上野原市内の子ども会や小学校を対象に、親子参加型や授業内での酒まんじゅう作り体験教室を実施。発酵のしくみや地域の食文化への理解を深めるとともに、親子や児童が楽しみながら郷土の味にふれる学びの機会となった。	私たちは、酒まんじゅうの伝統的な発酵食品の技術と背景にある地域の歴史・文化を、次の世代へと継承していくことを目的に活動しています。 定期的な練習や材料・製法の記録、親子向け体験会、学校や地域イベントでの出店を通して、地域の方々とともに「伝統の食」を身近に感じられる機会をつくります。さらに、多世代・多分野を巻き込んだ発信を重ねることで、酒まんじゅうの魅力を地域内外に広げていきます。
11	1	コモア盆踊り開催	コモア盆踊り会	コモア住民有志による秋祭り開催が3年ほど前から恒例化されていたこともあり、同じく日本の伝統行事である盆踊りも地域のイベントとして定着させ、新興住宅地であるコモアにも「ふるさと」としての位置づけを付加すべく設立。団体としても、近隣での盆踊りや公民館まつりでの踊り披露を行いイベントの盛り上げにも貢献する。	2001年より毎年開催しており、コロナ禍前の2019年まで毎年連続して19回開催。コロナ禍で2年間の中止を余儀なくされたが、2022年より再開し、本年度は従来以上の内容で第24回の実施を計画中。また、誰でも踊りの輪に気軽に参加できるよう、開催前には数回にわたり踊りの練習会を行っている。その他、大目桜まつりはじめ市内各所のイベントに会として参加して盛り上げたり、厳地区公民館まつりで踊り披露を行っている。	年に一度、7月に舞台櫓を組んでのコモア盆踊りを2日間にわたり開催する。資金面は自治会の、太鼓など備品は西小学校の、そして舞台櫓の組立は地域住民の協力を得て、23回の開催実績がある。
12	1	余韻の調べ	Eternal DIVA	上野原での音楽コンサートを通して、地域交流の場と音楽文化振興を創出すること。	2024年12月：市内幼稚園、子ども園、子育て支援センターにて計7回ライブ 2025年1月：もみじホールにて、「新春♪歌会2025」コンサート開催*1 2025年3月：上野原市立図書館にて子ども向けコンサート開催*2 全て入場無料にて実施 *1　動員数約200名 *2　動員数115名	・異なるジャンルのアーティスト、伝統的な楽器、舞踊などのパフォーマンス融合した、和テイストのライブコンサートを開催。 ・ステージと客席が無い至近距離で生の音楽を体験できるように路上や小規模会場にてライブを開催。
13	2	上野原アマチュア無線クラブ局運営維持費	上野原アマチュア無線クラブ	アマチュア無線の普及と無線技術の向上を目的として	1 毎月第2木曜日クラブミーティング 2 毎月7日　危機管理室の代行で、上野原市地域防災計画で締結したアマチュア無線局に対し試験電波の実施 3 アマチュア無線フェスティバル（ハムフェアー2024）参加 4 令和６年度上野原市防災フェスタにおいて、アマチュア無線の普及活動を実施 5 アマチュア無線免許失効者及び資格取得希望者への事務手続きの指導	令和6年度に引き続き、老朽化したレピーター施設の整備を行い安定した通信が行えるようにして行きたい。また、アマチュア無線の免許失効者に対し再免許申請、アマチュア無線資格取得希望者に対する事務手続きの指導をして行きたい。 　危機管理室の委託により、地域防災計画に指定された情報提供締結者を対象に災害時等に活用するため、情報収集訓練を毎月7日に実施しています。

令和7年度　上野原市市民活動支援事業一覧

番号	年数	事業名称	申請団体	団体概要	過去の活動実績	事業概要
14	2	防災リーダー支援の会	防災リーダー支援の会	防災経験者として上野原市管内の自治会及び自主防災組織等に対し、専門分野での経験や技術・知識等を提供し、共に防災・防火の向上に努めることを目的として発足した。	発足2年目となることから、上野原市の防災力強化のための支援をしていきたい。 1　防災リーダー等に対し実災害に対応出来る技術支援行う。 2　民間組織として、ボランティアで支援を行う。 3　支援先は危機管理室及び市内各自治会に対し支援する。 4　資器材等は、指導事項等を市と協議し決定する。 5　地区防災組織からの指導要請があれば、事前に市と協議し決定する。	上野原市地域防災リーダーに対し、地域防災力の強化を図り、地域において積極的に防災活動に携われるよう防災計画の作成や防災訓練の企画運営、災害時に必要な避難誘導や救出救護活動の指揮、避難所の開設、運営等について助言等支援ををを行うため、防災経験者が地域防災リーダーにフォローアップして行きたい。
15	2	たんぽぽ会	たんぽぽ会	図書館ボランティアとして、絵本やお話の楽しさを子供達に伝え、地域の団体・学校などへの協力や社会に奉仕することで明るい町づくりに貢献します。	秋山小学校、上野原小学校1.2年、やまびこ学園、秋山保育所で、読み聞かせ 図書館まつりで、影絵、大型紙芝居、ペープサーと等を上演し、図書館に協力 11ヶ月検診のブックスタート協力	現在は、秋山小、上小1、2年、やまびこ学園、秋山保育所で読み聞かせ 図書館まつりで、影絵、大型紙芝居、ヘープサート等を上演し、協力 9ヶ月検診ブックスタート協力
16	2	コモアアコースティックライブ	コモアアコースティッククラブ	コモア住民で楽器の独奏・弾き語り・バンド・コーラス等の活動を行っている人達との交流、親睦を図る。	・25回目ライブ　2025.11．23　上部ステーション前広場 ・24回目ライブ　2025.6.23　コモアプラザレンタルルーム ・23回目ライブ　2024.10.29　3丁目集会場 ・22回目ライブ　2024.6.4　コモアプラザレンタルルーム ・桜の里慰問ライブ　2022.12.18 ・スマイルフェスタ　2022.10.30 ・コモア敬老会ライブ　2019.9.15 ・やすらぎ荘慰問　2019.8.24 ・桂川フェスティバル　2019.5.11	コモア地域内を中心として、コモアアコースティッククラブ活動を春、秋と年2回実施。 他に、コモア敬老会や病院、介護施設等の慰問ライブを実施。
17	2	上野原で「第九を歌おう」会	上野原で「第九を歌おう」会	上野原市の文化活動推進の一環として、老若男女が集い参加者の親睦を図りながら合唱を楽しみ歌う喜びを共有し、生涯学習の場つくりの一助になることを期待するとともに、市民活動の活性化をはかることを願い設立した。	2023年12月に設立し、1年4ヶ月を迎えたが、この間、月2回の練習会を実施している。 登録会員のほとんどが参加し、当初の目的を達成することができた。中高年者の会ではあるが、合唱の楽しさを味わうと共に生き生きと練習に励む姿や、市民合唱祭での嬉々とした発表は参観者から賞賛を受けることで、今後の活動の意欲に繋げることができた。また、中には自主練習に励むなど生活張りができ健康に繋げられているという声を聴くこともあり、他市の「第九」の発表会に足を運び、学びの意欲も感じられる活動となっている。	昨年度は講師を招聘し、レベルアップを図ることができ会員の士気も高まり令和7年度も5月以降、月2回の練習会を予定している。昨年同様、練習の成果を11月に開催される市民合唱連盟の市民合唱祭での発表会を考えているので、今年度も講師を招聘し、レベルアップした活動を考えている。 これらの事業を通して、異年齢交流や健康増進に寄与できるような活動にしていきたい。
18	2	景観・美化活動	上野原有機農業会	耕作放棄地の再利用活動	梅林の保全活動、耕作放棄地の草刈り、蓮の花の植え付け、桜の木の植樹	耕作放棄地には花を植えて景観をよくする活動。また整備することによる鳥獣被害の抑止効果の為
19	2	まちづくりの推進を図るチアダンス活動	うえのはらアップフィールド	チアダンスによる地域交流を生み出し、地域を応援する。 施設訪問、地域イベント参加による住民応援。	イベント参加 2024年9月　大月市厄王大権現　秋季祭典出演 2024年10月　コモアスマイルフェスタ出演 2024年11月　おまつりローグ出演 2025年2月　街の駅やまなしeスポーツ大会出演 その他 チームオリジナル缶バッジ作成（logueへ発注） 2024年2月4日　山梨日日新聞にチーム記事掲載	・レッスンを通じ住民同士の交流を作る。 ・地域イベントでのチアダンス発表 ・スポーツイベントでのチアダンス発表 ・上野原市の魅力紹介、発信。（インスタ） ・福祉施設への訪問。

令和7年度　上野原市市民活動支援事業一覧

番号	年数	事業名称	申請団体	団体概要	過去の活動実績	事業概要
20	2	2025年度　第26回コモア秋祭り	コモア秋祭り実行委員会	1996年、当時小学生の子供を有するコモア在住の有志が中心となり、子供たちの思い出になるようなイベントを立ち上げたいとして	1996年より毎年開催しており、コロナ禍前の2019年まで毎年連続して23回開催。 内容としては、子供・来場者向けイベント（輪投げ、くじ、スーパーボールすくい、ビンゴ）、子供神輿・山車巡行及び大人神輿渡御、など コロナ禍で中止や縮小を余儀なくされたが、昨年度の試行開催をへて、本年度は従来の内容で第26回の実施を計画中。	毎秋に地域とその周辺（対象は地域や市内に限定せず）の子供達対象の秋祭り開催。 内容は、模擬店（くじ引き、スーパーボールすくい、輪投げ）、子供神輿、山車巡行、ビンゴ大会、大人神輿渡御。
21	2	親子サークル	なないち	地域の人々と密接に関わり子育て共同体をつくること	★2023年度 0～2歳児の子どもとその親子を対象とした親子サークル活動 ◎屋外自然遊び ・桂川や公園にて自然遊び ・市内のサークル（冒険遊び場プレイパーク） ・こども園（こども園仁）との共同企画 ・やまはた農園との共同企画 ◎イベント ・夏祭り/ハロウィンパーティ/クリスマス会 ・市内イベント（ひなたぼっこしようよ）出店〈おもちゃ絵本交換会〉 ◎プロ・アーティストよる講座 ・助産師による講座〈食養生講座/体の見立て方講座/性のお話会/災害対策講座〉 スポーツインストラクターによる講座〈ベビースイミング講座〉 ・プロカメラマンとの共同開発〈写真撮影会〉 ・ピアノ教師による講座〈リトミック教室〉 ・編み物講座 ◎文化継承活動 ・市内のサークル（和みなかよしクラブ）との共同企画〈酒饅頭作り見学〉 ★2024年度 ●0～6歳児の子どもとその親を対象とした親子サークル活動 ◎屋外自然遊び ・桂川や公園にて自然遊び（草木染め/絵の具遊び） ・田んぼ遊び ・やまはた農園との共同企画 ◎イベント ・夏祭り/冬祭り ・市内イベント（駅前マルシェ/コモアスマイルフェスタ/桂川フェスティバル/UENOHARA STEPS/じゅんかんひろば） ・バスツアー ◎プロ・アーティストによる講座	・子育て親と子ども同士の交流 ・上野原市内（近隣）で活動する方との交流 ・市内イベント出店
22	2	環境問題に取り組む	5Rサストモ	ゴミ減量化、特に生ゴミの堆肥化やプラゴミ資源化などで身の回りでできることから取り組み、地球温暖化を考える。	・地域のイベント（コモアフェスタ）でブースを出し、展示などを行う。 ・中央公民館主催の講習会参加、協力。 ・環境問題、学習会実施 ・サストモカフェで会員の交流 ・サストモ通信4号まで発行。	ゴミ減量化を目指す、特に生ゴミの堆肥化、プラゴミの資源化を目指し、そのための学習会や広報活動をすすめる。

令和7年度　上野原市市民活動支援事業一覧

番号	年数	事業名称	申請団体	団体概要	過去の活動実績	事業概要
23	2	「せいだ芋」のブランド化	上野原せいだプラント	「せいだ芋」で町おこし	○沿革 2020年3月：「上野原せいだプラント」発足 2020年9月：「せいだ芋のポテトフライ」発売 2023年9月：「せいだ芋のブランド化」が上野原市「まだ、知らないだけ。」プロジェクトに採択 2024年1月：上野原市長との新春鼎談に参加。「上野原せいだ芋」のブランド化に向けた取り組みが始動 2024年2月：上野原市立図書館「英語おはなし会・特別版～上野原せいだ芋のはなし～」を後援 2024年3月：山梨県富士・東部農務事務所と「せいだ芋」の調査栽培開始、市内生産者13団体と連携した契約栽培を推進 2024年4月：龍泉寺「芋大明神祭」を後援 2024年5月：令和6年度上野原市ふるさと納税特産品開発事業に採択、本格焼酎「芋大明神」のリニューアル 2025年1月：山梨県・新事業共創プラットフォームTRY！YAMANASHI！のサポート事業認定 2025年3月：文化庁主催「100年フード」に「上野原せいだ芋の食文化～せいだのたまじ、せいだ芋焼酎、せいだ芋のポテトフライ～」が伝統の100年フード部門に認定確定。また、代表の長岡洋明が地域特産物マイスター（日本特産物協会）に「上野原せいだ芋」で認定取得。 2025年4月：本格焼酎：「芋大明神」より新商品発売予定 （令和6年度上野原市ふるさと納税特産品開発事業）	2023年9月からは上野原市「まだ、知らないだけ。」プロジェクトのパートナーとして「せいだ芋のブランド化」に取り組んでいます。伝統野菜「せいだ芋」を新たに「上野原せいだ芋」として、上野原の魅力を伝える"地域ブランド"への育成を行っています。上野原市と行っている「上野原せいだ芋」の歴史・文化価値の明文化資料、おいしさの理由を見出すための調査栽培やアンケート等の結果を活用し、「上野原せいだ芋」の周知活動を行います。そして、その活動を通して、上野原の魅力の発信と地域活性化を目指しています。
24	2	富士山景観スポット整備事業	山梨の桃太郎伝説を伝える会	別紙規約のとおり	桃太郎「天空の鳥居」を建造、花桃及び桜（15本）の植樹を実施した。	能岳周辺の富士山絶景他に桃太郎天空の鳥居を建造、花桃等の植樹を行った。本年度は案内板を設置、及び登山道沿いの景観伐採等を行い来訪者への周知と利便性を高める。
25	2	ウクレレ　マハロ	ウクレレ　マハロ	音楽を通じて交流の輪を広げ、演奏する楽しさを共有することで、地域住民が日々の活力を見出すきっかけ作りの場となることを目的として設立した。	定期練習（毎月4回程度） 演奏依頼：高齢者施設（デイサービスこつぶ）、まちなかの会オレンジカフェ、秋山温泉まつり、秋山保育所、上野原・巌子育て支援センター イベント参加：ちくちく会、上野原アートクラフト市、秋山ふるさと祭り、西原ふるさと祭り 懇親会：お花見、納涼会、忘年会	ウクレレを伴奏に、童謡からJ-pop、演歌など、さまざまなジャンルの歌を歌い、ともに音楽を楽しむことで交流を深め、地域活性化を図る。
26	2	吹奏楽を通じた地域活動	クラスペディアハーモニー	上野原市で音楽を学んだ子供たちが出身中学校、高校の枠を超えて、音楽を通して集まった団体。市内での演奏会や地域移行を見据えた中学校との合同練習、施設への訪問演奏、市民対象のコンサート等、団員個々の力をつけていくのは勿論、市民に還元できる団体を目指す目的で設立した。	・上野原市納涼大会演奏 ・上野原吹奏楽フェスティバル演奏 ・上野原市合唱祭演奏 ・小学校訪問演奏 ・定期演奏会 ・地域中学校との交流（練習訪問、演奏）	1　地域の文化活動を向上させるため、演奏活動を通して地域貢献を行う。 2　部活動の地域移行も見据え、上野原市内にある中学校や高校との合同練習、演奏などを行い、交流を図り文化活動の裾を広げる。 3　1、2を行うためにも個々の技量、団のレベルアップも図るため、講師招聘をし、力をつけていき息の長いバンドを目指す。
27	3	じょいそーらん	じょいそーらん	地域の活性化と全ての人が元気で楽しく過ごせることを目的として設立しました。	・じょいそーらん祭,欅祭り開催 ・大目さくら祭り等様々なイベントに参加 ・信玄公祭り参加 ・テレビ朝日「題名のない音楽会」出演 ・YOSAKOIソーラン祭りファイナルステージ進出・優秀賞	演舞を通じて皆様に元気と感動を与え、人々との繋がりを持ち、健康増進にも役立ち、市民の皆様そして多くの皆様が活気あふれる毎日が送れることを願い活動しています。

令和7年度　上野原市市民活動支援事業一覧

番号	年数	事業名称	申請団体	団体概要	過去の活動実績	事業概要
28	3	うえのはらアートひろば	うえのはらアートひろば	それぞれ活動しているアーティストが子育てを通して交流を深め、拠点である上野原市で、親子世代を中心に芸術文化にふれるイベントを企画するために発足。	2024年「大人も子どもも　ひなたぼっこしようよ！」を開催。2025年2月「じゅんかんひろば」を開催。	市内アーティストによるワークショップを開催。市内で出た廃材、材木を使用したり、廃校舎で眠っていた楽器などを蘇らせ、新たな楽器や音の鳴る作品創作を行う。子どもたちにも参加してもらい、多くの人が芸術文化にふれる場作りを行う。その他、子ども達が芸術文化にふれる体験や、アーティストと身近な環境作りを実施、新たな交流の場を設ける。
29	3	大目地区生活支援体制整備事業	大目さくらの会	本会は、上野原市及び上野原市社会福祉協議会と連携し、高齢者、障がい者及び幼少年等の福祉の増進を図るとともに、誰もが住み慣れた地域で、いつまでも暮らし続けられるまちづくりを推進する。	本会は、平成30年10月22日、第1回目の地域づくりワークショップを開催、その後もワークショップを継続し、令和2年2月1日に設立する。その主な事業としては、次のとおりである。 ①毎月第三木曜日に定例会 ②出前講座（上條内科クリニック医師上條武雄先生を中心とした講演会等）・・・2回 ③青空さくら（大野貯水池堰堤・大目出張所での交流会）・・・2回 ④困りごとの相談・支援 ⑤各行事等での広報活動	本会は、以下の事業を推進する。 1　身近な問題等ニーズの把握と問題解決の支援 2　医療関係者による生活指導・支援 3　介護施設を利用した交流支援 4　生活支援コーディネーターとの連携による地域づくり 5　青空さくら等行事による広報活動
30	3	自主上映会を通した福祉を考える場づくり	bookmark実行委員会	自主上映会などの企画を通し 「障害福祉」・「地域づくり」をキーワードに多様な主体と連携し、課題を考える主体育成の場を創出する	■bokmark1：令和4年11月5日（土）来場者数：105名 自閉症のある妹の日常を撮影したドキュメンタリー映画『ちづる』の上映会とトークセッション ■bookmark2：令和5年5月27日（土）来場者数：104名 重度の知的障害のある弟の日常を撮影したドキュメンタリー映画 『僕とオトウト』と『ちづる』のW上映会とトークセッション ■bookmark3：令和6年10月13日（日）　来場者数：72名 高齢の母親と知的障害のある息子が地域社会で生きていく様子を描いた実話を基にした映画『梅切らぬバカ』と『ちづる』のW上映会とトークセッション ※「上野原市市民活動支援事業」助成申請は　bookmark2から	・マイノリティに対する人権侵害 ・当事者や家族の日常 ・福祉施設との地域コミュニティの不和や偏見 ・親無き後の障害者支援 ・共生社会の実現 等をテーマにしたドキュメンタリー映画の上映会と、監督や関係者によるトークセッションを通して、障害について考える催し「bookmark」を開催する。
31	3	出張撮影	スマイルフォトメモリー	市民の笑顔と思い出をかたちに残し上野原の魅力を発信し、後世につなげていく。	上野原で記念撮影が行えるよう上野原市内で定期的に撮影会を行う。	遠方に行かなくても上野原で思い出に残る撮影ができるような活動を行う、また市内には四季折々素晴らしい風情がありたくさんの人に上野原の良いところを知ってもらえるようにかたちにして発信していく。
32	3	子育て世代交流事業	mama.to.ko.piece	～ママ、子供・親子で楽しめる活動～ ホっとできる場所を作りたい。ママ同士のつながり、きっかけ作りの場を増やしたく設立	2022年：ママ時間・ピニャータ作り、親子で学ぶ性教育、クリスマス会 2023年：デコ巻き作り、マルシェ、足形アート、お正月フォトブース 2024年：食育、水遊び、おまつりlogueに参加、スプーン作り、ハロウィンフォトブース等 2025年：豆まきフォトブース、、ままとこ子どもマルシェ等	・ママと子供・親子で楽しめるイベント企画 ・支援センターやここあ教室とのコラボイベント 子育て世代の交流と、ホっとできる場所作り